

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績については単一セグメントのため製品種類別に記載しております。

品種別	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
小ねじ	769	7.1
タッピンねじ	1,021	△3.6
ボルト	2,680	9.6
座金組込ねじ	2,047	9.7
その他	420	△48.1
合計	6,940	0.6

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 当社グループの製品は主として社内製作を行っているが、一部協力工場において外注加工を行っており、上記の数値には外注生産高が含まれております。

(2) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績については、単一セグメントのため製品種類別に記載しております。

品種別	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
小ねじ	760	51.8	248	200.6
タッピンねじ	1,225	40.3	568	31.5
ボルト	2,642	29.1	890	29.0
座金組込ねじ	2,152	34.9	706	22.7
その他	441	△35.0	148	99.0
合計	7,223	26.8	2,561	38.1

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績については、単一セグメントのため製品種類別に記載しております。

品種別	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
小ねじ	766	8.2
タッピンねじ	1,110	2.7
ボルト	2,684	10.4
座金組込ねじ	2,071	9.8
その他	428	△45.7
合計	7,060	2.4

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりです。

相手先	前第3四半期連結会計期間		当第3四半期連結会計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
日産自動車(株)	1,798	26.1	2,463	34.9
スズキ(株)	1,000	14.5	803	11.4

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国を中心とした成長に伴い一部では回復の兆しが見られるものの、本格的な回復基調に至らず、依然として予断を許す状況ではありません。

当社グループが主力をおきます自動車業界においても、業績は回復しつつありますが、前年同期に比べ引き続き厳しい環境で推移しております。その結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前連結会計年度からの販売数量減少を主要因に7,060百万円(前年同期比2.40%増)となりました。利益面におきましては、原価低減諸施策の推進に努めた結果、営業利益は294百万円(前年同期は営業損失350百万円)、経常利益は286百万円(前年同期は経常損失402百万円)、四半期純利益は177百万円(前年同期は四半期純損失480百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加等の影響により、前連結会計年度末に比べ1,667百万円増加し、18,376百万円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金の増加等の影響により、前連結会計年度末に比べ1,543百万円増加し、14,466百万円となりました。

純資産については、その他有価証券評価差額金の増加等の影響により、前連結会計年度末に比べ124百万円増加し、3,909百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、第2四半期連結会計期間末に比べ371百万円増加し、2,825百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における営業活動による資金の増加は、581百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が285百万円、減価償却費が184百万円、売上債権の増加734百万円、たな卸資産の減少77百万円、仕入債務の増加792百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における投資活動による資金の減少は、105百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出102百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における財務活動による資金の減少は、103百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出93百万円、短期借入金の純減少額8百万円等の資金の減少によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費の総額は66百万円であります。